

バイオミメティクスの国際標準化

—統合化知識インフラを基盤とするオープンイノベーション・プラットフォームの構築に向けて—

日時：平成25年6月20日(木)
13:00-17:50

会場：産業技術総合研究所
臨海副都心センター
別館11階会議室

(東京都江東区青海二丁目4番7号4-2-2)

電話：03-3599-8001

交通：新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」
「テレコムセンター駅」下車徒歩約4分
東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車徒歩約15分
(<http://unit.aist.go.jp/waterfront/>)

-趣旨-

バイオミメティクスは、生物の多様性を原資にすることで、エンジニアリングのパラダイムシフトと、ひいては持続可能性に向けたイノベーションをもたらす切り札であり、多量な生物学データベースの有効利用がその成否を握っています。

昨年10月には国際標準化機構においてISO Biomimetics TC266が設置され、本年5月の第二回国際委員会において3つの課題について議論がはじまりました。また、今般、日本から、生物や材料のデータベースを統合化した知識プラットフォームの標準化を提案いたしました。生物学のデータベースは、画像もテキストもある、いわば“ビッグデータ”であり、多量の画像データを含む情報処理と、エンジニアリングへのリエゾンによってもたらされる発想支援がキーポイントになります。

今回は、パリで開催されたISO TC266国際委員会の報告と、生物や材料、機械などの統合化データベースを知識プラットフォームとし、異分野連携、産学連携、垂直連携のためのオープンイノベーションのプラットフォーム構築に向けた取り組みを紹介いたします。

-プログラム-

第一部：ISO Biomimetic TC266国際委員会報告

13:00~13:30

1. Conception and strategy - Differences between bionic and conventional methods/products (WG1)

(産総研) 関谷 瑞木

13:30~14:00

2. Biomimetic materials, structures and components (WG2)

(物材機構) 細田奈麻絵

14:00~14:30

3. Biomimetic optimization (WG3)

(産総研) 阿多 誠文

14:30~15:00

4. Knowledge Infrastructure for Biomimetics (WG4)

(北大情報) 長谷山美紀

第二部：知識基盤の構築と産学官連携にむけて

15:20~16:20

5. [招待講演] ビッグデータ時代の新たな価値創造

(JSTシニアフェロー) 奥和田久美

16:20~16:50

6. 異分野融合を支える知識情報基盤

～シソーラスを用いた分野横断検索について～

(JST) 恒松 直幸

16:50~17:20

7. 産業界との連携

(積水インテグレートドリサーチ) 佐野 健三

17:20~17:50

8. バイオミメティクスの産業利用促進

—世界動向と日本の課題—

(帝人) 平坂 雅男

主催 高分子学会 バイオミメティクス研究会 ISO/TC266バイオミメティクス国内審議委員会
共催 科学研究費新学術領域「生物規範工学」
協賛 アスクネイチャー・ジャパン ネイチャーテクノロジー研究会

参加お申込みはこちら：<http://www.spsj.or.jp/entry//annaidetail.asp?kaisaino=853>

問合先：高分子学会 バイオミメティクス研究会係

〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F

電話 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737

※Webでのお申し込みは6月19日(水)午前までとさせていただきます。以降は上記宛お問い合わせください。

